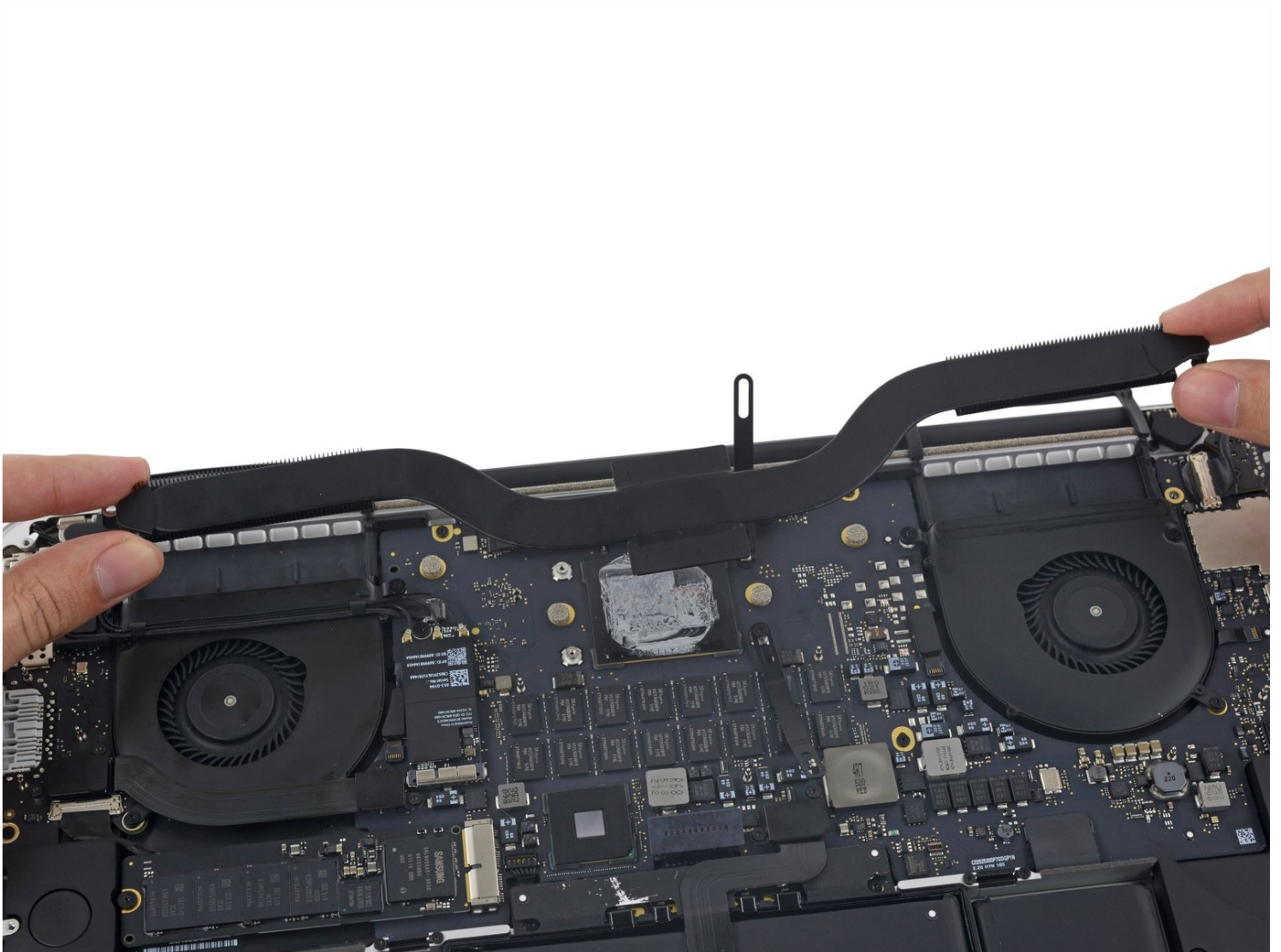




MacBook Pro 15" Retina Display Mid 2015のヒートシンクの交換

お使いのRetinaディスプレイ付きMacBook...

作成者: Andrew Optimus Goldheart



はじめに

お使いのRetinaディスプレイ付きMacBook Proの内部が熱くなっていますか？ヒートシンクに問題があるからかもしれません。このガイドを参照してMacBook Pro 15" Retina Display Mid 2015のディスプレイのヒートシンクを交換しましょう。

ヒートシンクを取り出したら、放熱グリスを綺麗に拭き取り、必ず再塗布してください。[ここ](#)から作業方法が参照できます。



ツール:

MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
スパッジャー (1)
T5トルクスドライバー (1)
Arctic Silver ArctiClean (1)
Arctic Silver 放熱グリス (1)
Coffee Filters or a lint-free cloth (1)



部品:

MacBook Pro 15" Retina (Mid 2015, Integrated Graphics) Heat Sink (1)
MacBook Pro 15" Retina (Late 2013-Mid 2015, Dual Graphics) Heat Sink (1)

手順 1 — 下部ケース



- MacBook Proに固定された下部ケースから次のP5 ペンターブネジを取り外します。
 - 3.1 mm-8本
 - 2.3 mm-2本

手順 2



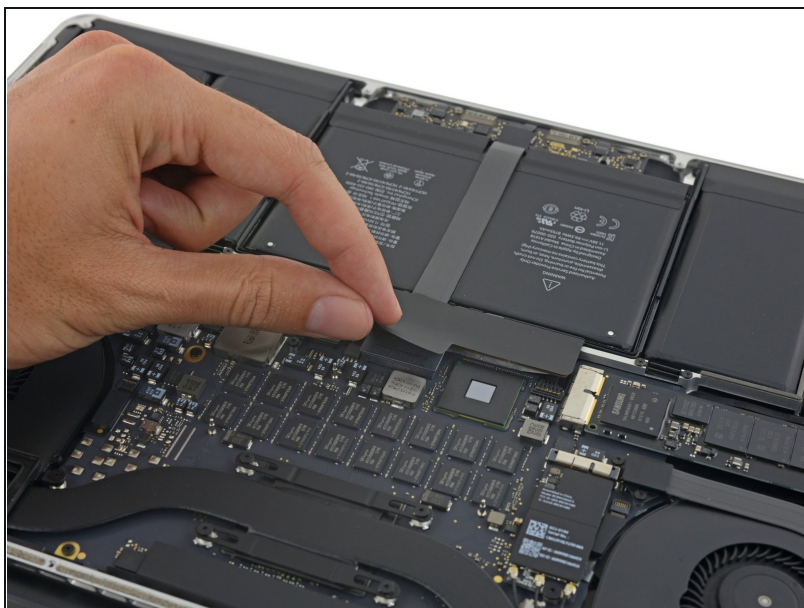
- クラッチカバーに最も近い端から持ち上げて、MacBook Proの底面ケースを持ち上げます。

手順 3



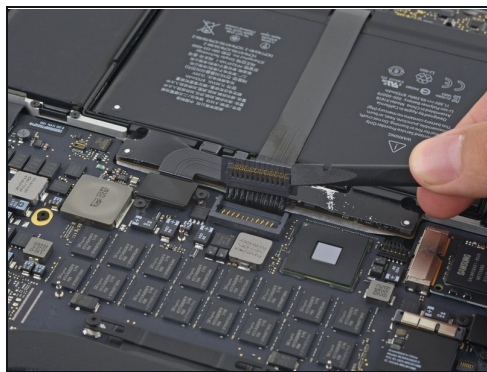
- ① 底面ケースには、上部ケース（オレンジ色）のプラスチッククリップに収まるプラスチック製の2つのペグ（赤色）があります。
- ✦ 再組立中に、底面ケースの中心を静かに押し下げて、2つのプラスチッククリップにケースを再び取り付けます。

手順4 — バッテリーコネクター



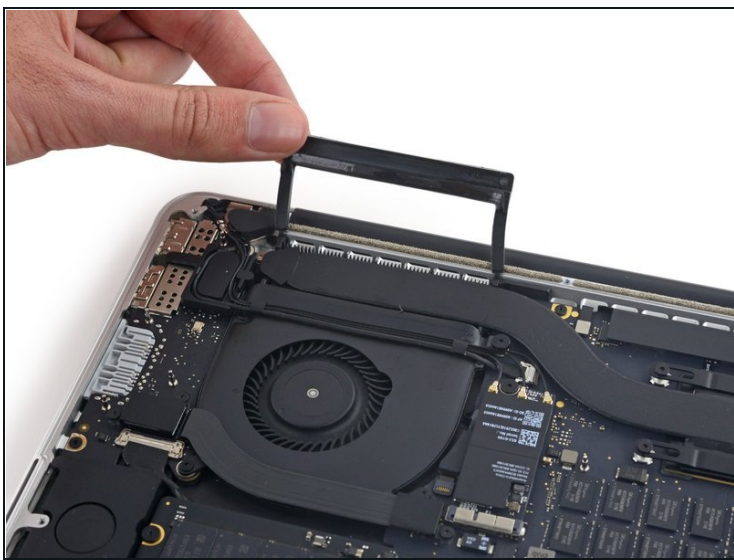
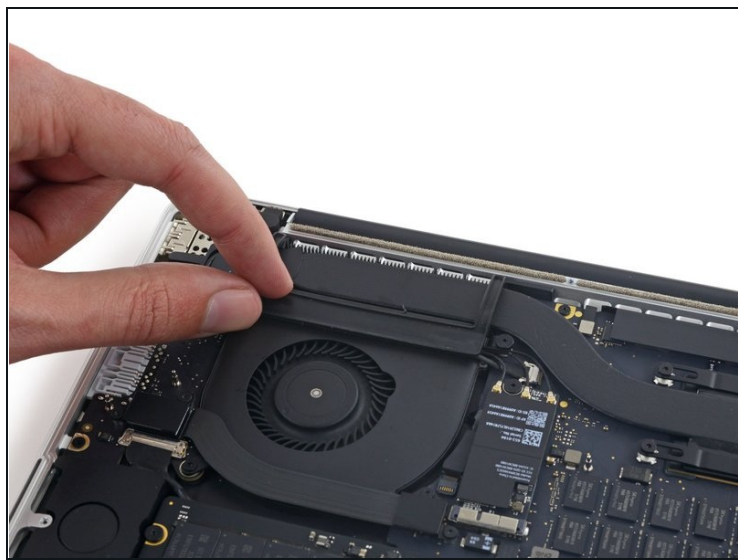
- バッテリーコネクターを覆うステッカーを巻き戻します。

手順5



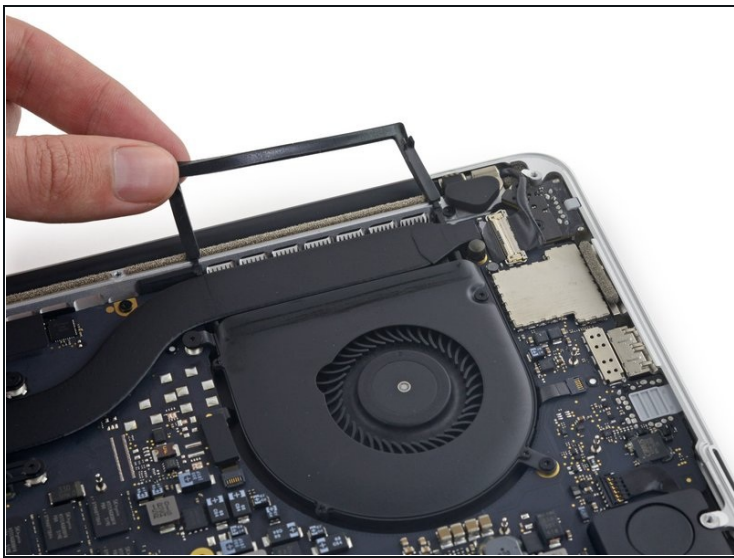
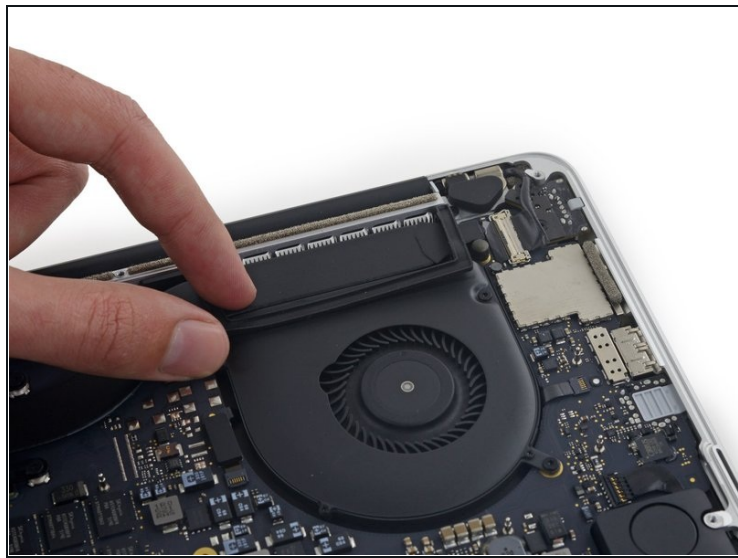
- バッテリーコネクターの両側を静かに持ち上げて、コネクターをロジックボード上のソケットから引き出します。
- バッテリーコネクターが誤ってロジックボードに接触しないように、コネクターをバッテリーの方に戻してください。

手順 6 — ヒートシンク



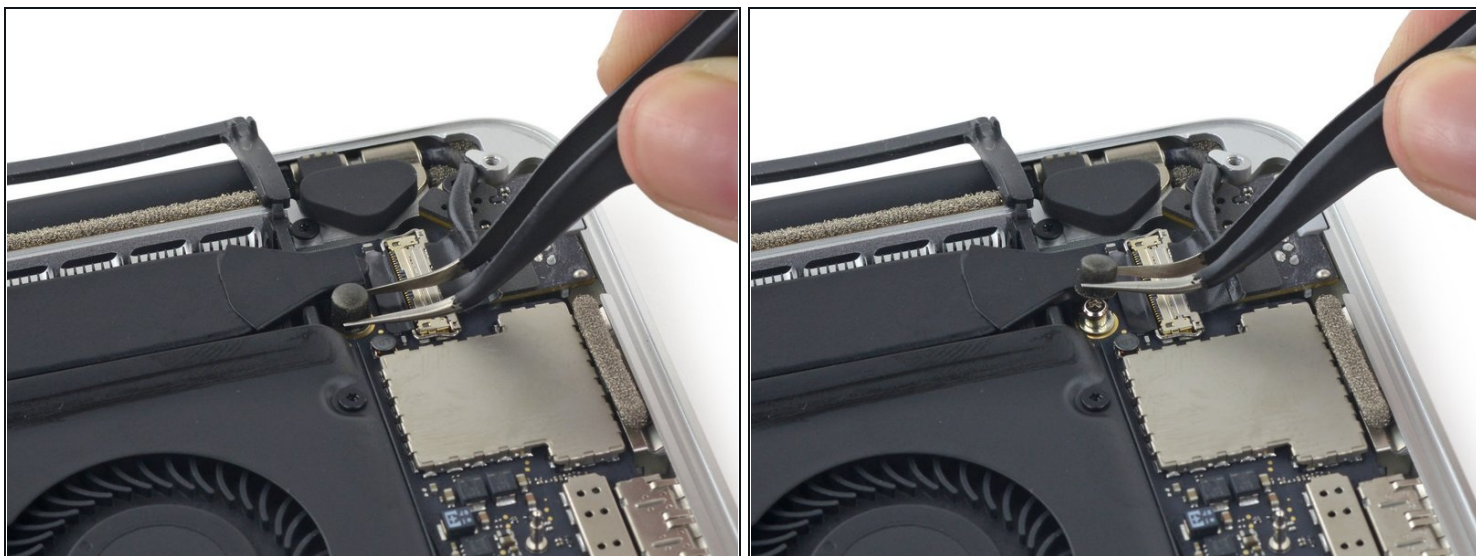
- 右側ファンのゴム製カバーを剥がして、作業の邪魔にならない位置に折り曲げてください。

手順 7



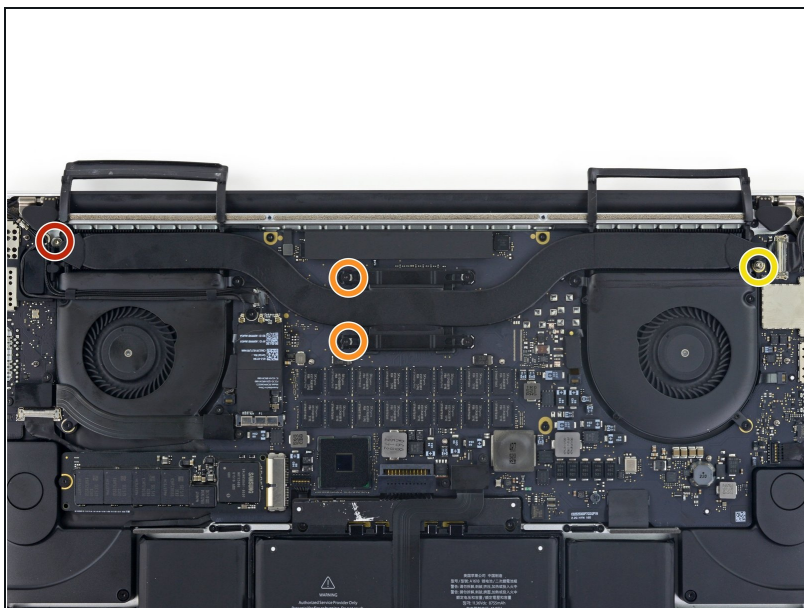
- 左側ファン上のゴム製カバーを剥がして、作業の邪魔にならない位置に折り曲げます。

手順 8



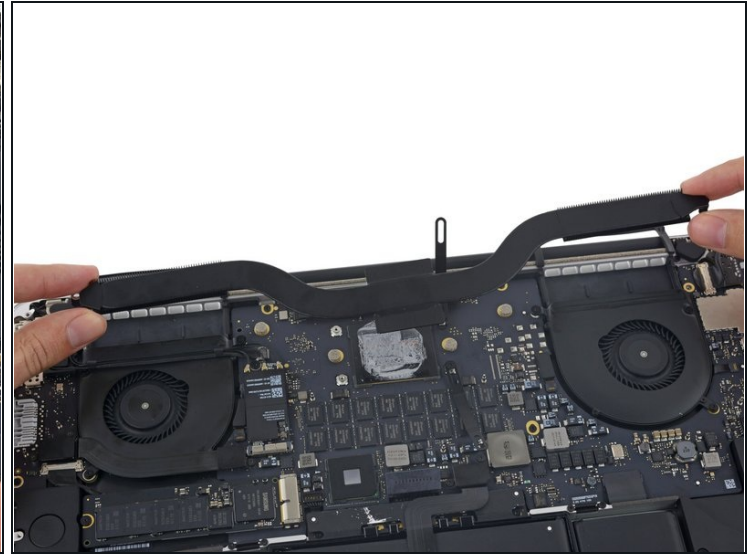
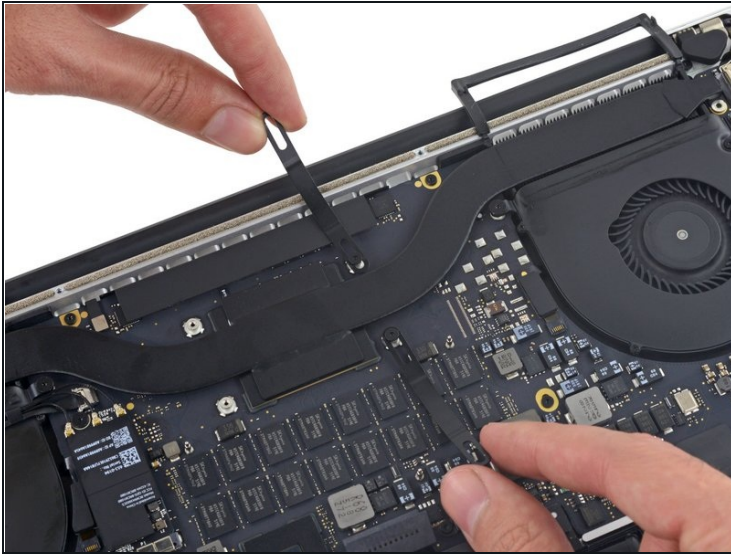
- ヒートシンク端のネジから小さなゴム製キャップを取り外します。

手順 9



- ヒートシンクを基板に固定しているネジを取り外します：
 - 3.8mm T5 トルクスネジ—1本
 - 3.4mm T5 トルクスネジ—2本
 - ① これらのネジを取り外すと、ヒートシンクを固定しているバネ付き金属ブラケットが解放されます。その時、ネジが弾かれて紛失しないようご注意ください。
- 5.6mm T5 トルクスネジ—1本

手順 10



- ヒートシンクを取り出す際に、邪魔にならないよう、この2つのバネ付き留め金を反対側に裏返します。
- MacBook Proからヒートシンクを取り出します。
- ☑ 再組立ての際は、CPUとヒートシンクの放熱グリスを綺麗に拭き取り、必ずCPUに放熱グリスを再塗布してください。[このガイド](#)を参照してください。
- ① デュアルグラフィックス搭載モデルを使用している場合、ヒートシンクを取り外す前に、GPUダイがある4本のネジを必ず外してください。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。